

日本の歴史文化が研修員に与える学びは何か

～JICA大阪・歴史街道推進協議会の連携プログラムから考える～

参加費 無料
定員 50名

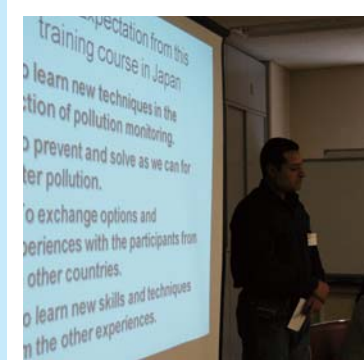
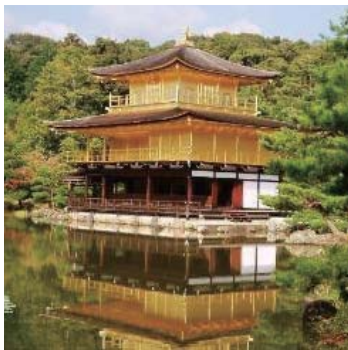
2011年2月25日(金) 18:40～20:40 JICA大阪

講師：松枝健夫氏(歴史街道推進協議会)

JICA大阪では、開発途上国から年間1000人以上の行政官や技術者を受け入れ、関西の特性を活かした研修を実施しています。

産業振興から環境、行政等様々な分野について、日本の技術や経験を参考に、母国の開発課題の解決策を探る研修員達。自国に適した技術導入のあり方を考えるためには、技術のみならず、背景にある制度、社会、歴史文化との関係を考えることも重要です。

現在試行中の歴史街道推進協議会と連携した歴史文化体感プログラムを通して、研修員にどのような学びがあるのかを考察します。



<講師> 松枝 健夫(まつえだたけお)氏

歴史街道推進協議会 企画調整部長
(パナソニック株式会社より出向)

<プログラム>

18:30 開場

18:40 開会

18:45 講演

I. JICA研修員受入事業紹介(大野ゆかりJICA大阪研修業務課長)

II. 歴史街道推進協議会実施のプログラムについて(松枝氏)

19:50 ディスカッション

20:40 閉会

<お申し込み方法>

①お名前

②所属

③Eメールアドレス

④懇親会(21:00～)参加の有無

をメール(jicaminseminar@yahoo.co.jp)でお知らせください。※締め切りは2月23日(水)です。

<お問い合わせ>

勉強会事務局:JICA大阪

Tel 072-641-6904 担当:中谷・難波

<会場へのアクセス> JICA大阪

茨木市西豊川町25-1 Tel 072-641-6904

JR茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から徒歩

シャトルバスあり。詳細は

<http://www.jica.go.jp/osaka/>をご覧ください。

JICA大阪・みんぱく・阪大GLOCOL「研究者と実務者による国際協力セミナー」とは...

国際協力を効果的に進めるためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本勉強会を通じて、研究者は実務の現場を知り、自信の研究の実践的価値を検証することが可能です。実務者は、日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つけたり、包括的な立場から国際協力について考えることができます。

国際協力・研究に関心のある方なら、どなたでも本勉強会にご参加ください。国際協力・研究の「現場」に触れることができます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGOスタッフ、コンサルタント、ボランティアとして国際協力の現場で活動している方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

